



感染対策の決め手である  
ワクチン追加接種を加速化

市長 頼高英雄

オミクロン株による感染拡大が続く中、市民の皆さんの健康を守り、感染拡大を抑えていく上で、ワクチンの追加接種が重要となっています。

そこで、蕨市では、65歳以上の高齢者の皆さんは1月31日から、64歳以下の皆さんも2月14日から接種間隔「6か月」への前倒しを行うとともに、集団接種会場も3か所開設するなど、ワクチン接種を更に加速化しています。その

結果、蕨市での3回目の接種率は、高齢者で約53%、全体でも約19%で（2月20日時点）、国や県の平均を上回るスピードで進んでいます。

追加接種では、全国的に半分以上がモデルナのワクチンとなっていますが、1・2回目と異なるワクチンを接種する交互接種も十分な効果や安全性が確認されていますので、ワクチンの種類にかかわらず、ぜひ、早めに接種していただければと思います。

また、5歳から11歳の小児への接種については、基礎疾患のある子どもを優先して、2月28日から開始しています。今後も市民の皆さんの健康を守るため、丁寧かつ迅速に進めてまいります。

### 市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。ただし、今月は10日です。4月は7日です。時間は午後1時～5時を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。